

文献を 入手する方法

文献検索の基本

文献の探し方①芋づる式

文献の探し方②データベース(日)

文献の探し方③データベース(英)

文献の探し方④新聞記事

文献の入手方法

Web上で無料公開されている情報を見る
 阪大契約の電子ジャーナルや電子ブックを見る
 外国学図書館で本を借りる
 他キャンパスから本を取り寄せる

外国学図書館でコピーする
 他キャンパスからコピーを取り寄せる

遠方の図書館に行って閲覧する
 遠方の図書館からコピーを取り寄せる
 遠方の図書館から本を取り寄せる

古書店、生協書籍店などで購入する

無料

安い

高い

有料

図書館は文献入手をサポートします

▶ 文献複写（コピーの取り寄せ）

- ▶ 到着まで：3日～1週間程度
- ▶ 費用：コピー代（白黒1枚40円～60円くらい）
+ 送料
+ 手数料がかかる場合もある

※著作権法で認められた範囲の複写に限ります。

※複数著者で構成された図書（論文集など）は、一人の著者が担当した部分が一つの著作物に該当すると解釈されるため、担当部分全てのコピーはできません。

著作権法 第三十一条 第一項

- 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあつては、その全部。第三項において同じ。）の複製物を一人につき一部提供する場合

図書館は文献入手をサポートします

➡ 現物貸借（図書現物の取り寄せ）

- ➡ 到着まで：3日～1週間程度
- ➡ 貸出期間：到着してから2～3週間程度
- ➡ 費用：往復の送料（1,200円～2,000円くらい）
+ 手数料がかかる場合もある

※館内利用のみ（自宅への持ち帰り不可）などの条件がつく場合があります。

※雑誌、参考図書、古い資料などは基本的に借りることができません。

利用時の注意事項

- 文献複写や現物貸借は、他大学や他機関との相互協力で成り立っている制度です。借り受けた資料は大切に扱うようお願いします。汚れたり破れたりした場合は弁償となる場合があります。

文献複写・現物貸借の申し込み方法

- ▶ OPACでヒットした場合

現物の取り寄せは



、コピーの取り寄せは



から申し込み可能

- ▶ データベースで「大阪大学で本文を探す」アイコンがある場合



大阪大学で本文を探す

をクリックして、

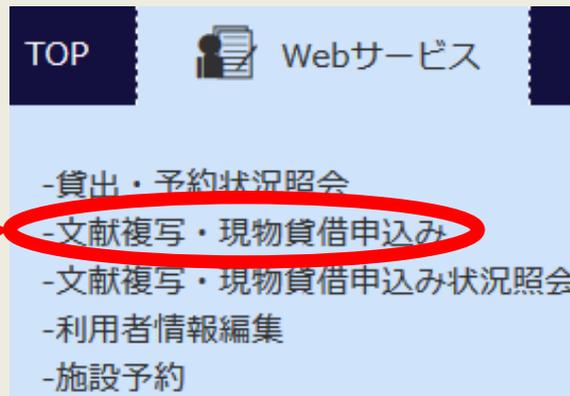
[学外からの文献取寄せ](#) を申し込む



から申し込み可能

- ▶ それ以外の場合

WebサイトやOPACの「Webサービス」から申し込み可能



図書館は文献入手をサポートします

▶ 訪問利用（読みたい資料がある図書館へ行く）

- ▶ 手続き（問い合わせや紹介状作成）には、3日～1週間程度かかります。
- ▶ 早めに外国学図書館へご相談ください。
- ▶ [関西大学](#)、[みんぱく図書室](#)は手続きなしに訪問利用が可能です。



大学院生に気軽に相談できます



▶ ラーニング・サポーター（LS）

- ▶ 学生の皆さんの学びをサポートする大学院生スタッフです
- ▶ 図書館3階「るくす」にてお待ちしております
- ▶ スケジュールは[こちら](#)をご覧ください
- ▶ [オンラインでの学習相談](#)もできます

サポート内容

- 学習相談
 - レポート作成のアドバイス（原稿の日本語チェックにも対応）
 - パソコンの操作法の説明
 - 各種ミニ講習会の実施
- など

箕面市立図書館を使う

▶ 箕面市立図書館について

- ▶ 箕面市内に7館ある
- ▶ 図書館は外国学図書館と[箕面市立船場図書館](#)が一体化したつくりになっていて、2階に箕面市立図書館の資料を配置。資料は[市のOPAC](#)で検索できる。

▶ 貸出券の作成について

- ▶ 授業や研究のために箕面キャンパスに通学していれば箕面市立図書館の「通勤・通学」区分で貸出券を作成できる
- ▶ 学生証と住所が確認できる身分証を持って2階サービスカウンターで申込み

▶ 貸出期間、冊数、予約などのサービス

- ▶ 貸出期間15日間（1回のみ延長可）
- ▶ 貸出冊数は20冊まで
- ▶ 予約・取り寄せも可。[箕面市立図書館のWebサービス](#)から申し込める。

国立国会図書館を使う

▶ 国立国会図書館について

- ▶ 日本で唯一の国立図書館であり、国内最大の蔵書数を誇る
- ▶ 東京本館、国際こども図書館、関西館の3館がある
- ▶ 大阪大学から一番近いのは京都府精華町にある関西館
- ▶ 満18歳以上なら誰でも利用可能だが、個人への貸出サービスはしていない

▶ 来館すれば利用できるサービス

- ▶ 所蔵資料の閲覧・複写・相談
- ▶ 豊富な電子ジャーナルやデータベースの利用

▶ 遠隔で利用できるサービス

- ▶ 遠隔複写サービス
- ▶ 図書館間貸出し

国立国会図書館を使う 遠隔で利用できるサービス

- ▶ 遠隔複写サービス（コピーの取り寄せ）
 - ▶ 申込み方法は2通り
 - ▶ 外国学図書館経由の文献複写サービスで申込み
 - ▶ 「[インターネット限定登録利用者](#)」になって個人で申込み
 - ▶ コピー代、送料がかかる
- ▶ 図書館間貸出し（外国学図書館への図書を取り寄せ）
 - ▶ 外国学図書館経由の現物貸借サービスで申込み（個人申込は不可）
 - ▶ 外国学図書館内で閲覧できる、自宅等への持ち帰りは不可
 - ▶ 片道の送料がかかる（1,000円程度）

国立国会図書館を使う デジタル化された資料を見る

▶ 国立国会図書館デジタルコレクション

- ▶ 国立国会図書館が収集・保存しているデジタル化資料を公開。
1968(昭和43)年までに受入れた戦前期・戦後期刊行図書、議会資料、法令資料及び児童書、江戸期以前の和古書、清代以前の漢籍等。

- ▶ 公開範囲は三段階

図書 や **電子書籍・電子雑誌** . . . 「インターネット公開」 誰でも閲覧可。

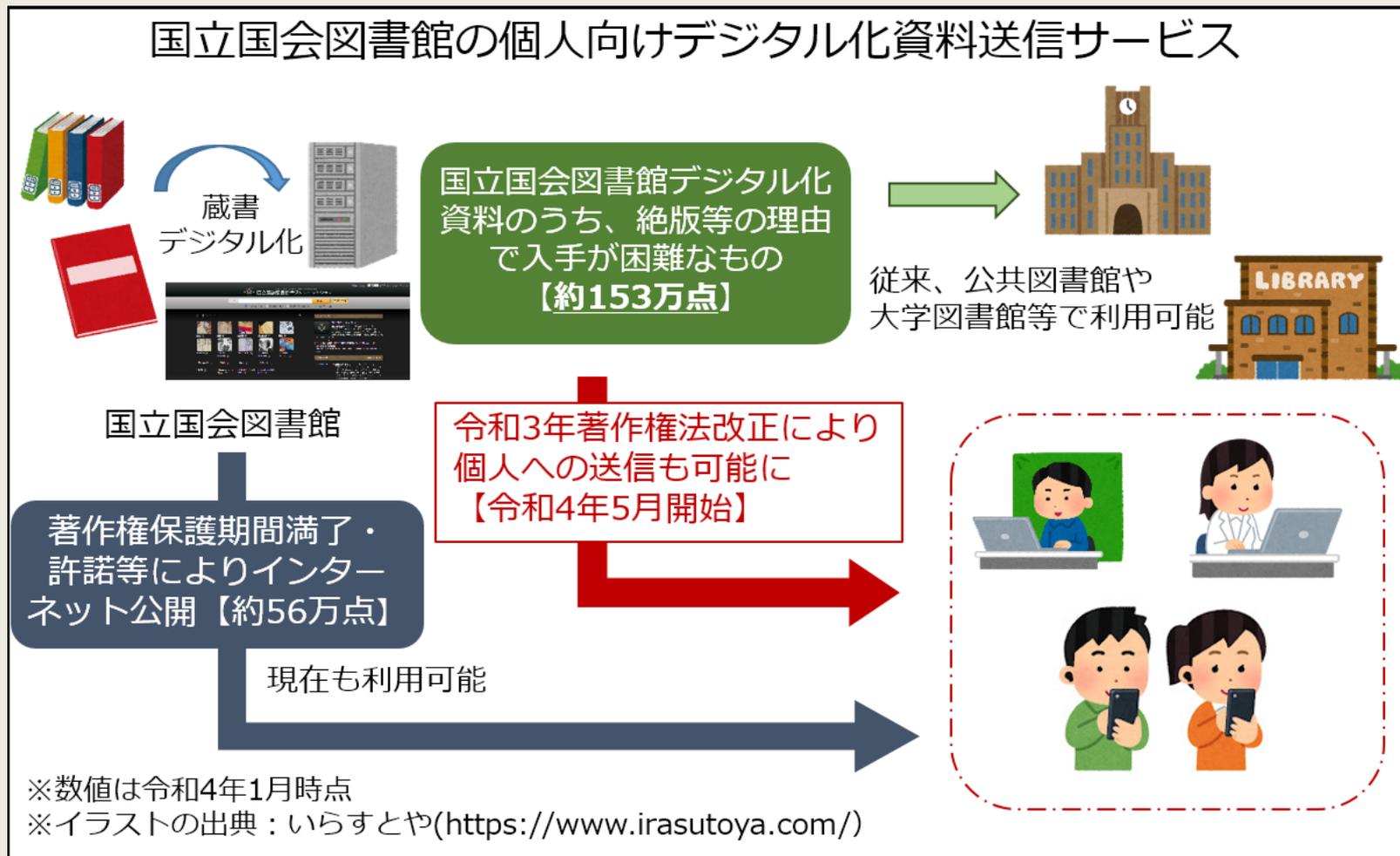
国立国会図書館/図書館送信限定 . . . 「図書館送信資料」

総合図書館と**外国学図書館**の専用PCで
平日9時-17時に閲覧可。
印刷は有料で申込みが必要。

国立国会図書館限定 . . . 「国立国会図書館内限定」

国立国会図書館のPCで閲覧可。
文献複写での取り寄せも可。

国立国会図書館を使う 個人向けデジタル化資料送信サービス



(参考) [「個人向けデジタル化資料送信サービス」の開始について](#)

図書館は皆さんの学習・研究を応援しています。
質問がありましたらお気軽にどうぞ。

外国学図書館 利用支援担当

メール：tosyo-minoh-desk@office.osaka-u.ac.jp

電話：072-730-5126（平日9:00-17:00）